



自由民主党議員 山崎 芳夫

扶助費削減の説明責任

扶助費削減の必要性を区民に説明するべきでは。

10か年計画(第2次)

10か年計画(第2次)では一般財源規模の基準歳入を平準化し、650億円としているが、22年度予算はこれを超過している。その理由は何か。

全庁で投資的経費などの歳出削減に取り組んだが、抑制できなかった。

扶助費の削減は内容的に難しいが、10年後のまちづくりのため、区の責任で、費負担比率の目安は。



公明党議員 白井 秀史

保育園の待機児対策

平成26年度には待機児ゼロを目指すというが、我が会派は、緊急的かつ大胆な施策の展開が必要と、これまで要望してきた。急増する待機児童に対応するには、新たな保育計画の策定が必要と思うがどうか。

目標達成の具体的な手立ては、今後明らかにする。待機児解消には、保育園の新規開設が必要と考える。小学校跡地などの空いている区有施設を活用するなど、具体的な施策を講じるべきではないか。

本年4月の待機児童の発生状況を踏まえ検討する。

10%程度を目安とする。一般財源の1%は6億円になる。公債は借金である以上、比率だけでなく、数量的指標も示すべきでは。

発生主義会計の観点から起債残高などの管理や指標の設定を検討している。

職員の間企業等再就職の民間企業等再就職

国際交流協会への再就職は関係者の瑕疵となるか

職員の再就職自粛団体だが、定められた規定を守っており、瑕疵ではない。

相互に波及効果をもたらす施策を工夫したい。

脳脊髄液減少症対策

脳脊髄液減少症は、何らかの原因で脊髄液が外部に漏出し、頭痛・めまいなどの症状を来す疾患である。むち打ち症のように何年か経過の後、症状が現れる場合もあるが、治療法は研究段階という。交通事故やスポーツなどで外傷を負った生徒の後遺症の中にも、これらの症状がある場合、支援の必要から、文科省は都に対し通達を行ったが、教育現場ではどのような行動をされたのか。

保護者への情報提供のほか、養護教諭を中心とした体制を構築しているが、本症例の報告はない。

症例はなくとも、潜在的に漏れている可能性が懸念される。今後も、学校現

場での研修会や教育委員会での広報を行うべきでは。

本疾患は「怠けている」など、周囲の誤解を招きやすいことから、保健主任会などの周知徹底の研修を行いたい。



日本共産党議員 せきと 進

警大跡地の開発と環境負荷

れによって生じる環境負荷を抑制し、快適な空間で生活を、表現したものである。

警大跡地の高層ビルの建設によって、2千トン以上のCO2が排出され、建築後の施設の運用において

西武新宿線連続立体交差化に伴う都市計画道路整備

道路補助220号線は都市計画決定後、40年以上も経過する路線であるが、都の第3次事業化計画における都市計画道路の「必要性の再検証」の結果、どのように位置づけられたか。

延焼遮断帯の形成、安全な避難路の確保といった地域的課題に資する路線として位置づけられている。

新井薬師前駅周辺と都市計画道路補助220号線の整備スケジュールは。

基本的には駅前広場と補助220号線の整備は同じスケジュールで進めたい。

整備の際、環境影響調査や費用対効果の検証を行うべきであるが区の考えは。

規定はないが、事業化の際、必要事項について環境影響調査の実施とともに費用便益の検証も行いたい。

整備を機に公共交通の利便性向上を図るべきでは。

オンデマンド交通の導入により、高齢者などの移動制約者の病院や買い物などへの交通手段が確保され、地元商店街の利用拡大や地域コミュニティの活性化も期待できる。今後、社会実験、検証を行っていきたい。

道路整備の際の関係地権者への補償の内容は。

土地・建物取用と仮住居に要する費用や営業補償などの生活補償は、基準に基づき行うことになる。

もCO2が排出される。商業、業務、教育など、施設によるCO2排出量の目安はあるか。

特別区協議会の23区の業務部門別、CO2排出量の推計によると、床面積1平米当たり、事務所ビルで約100kg、大型小売店舗で約150kg、学校で約30kgである。

東京都省エネカルテの施設の性質別年間排出量で計算すると、警大跡地に呼

び込むにぎわいにより、CO2排出量は2万4千トン、中野区の総排出量では2.4%も増える。開発はどうしてもたくさん負担を自然環境にかける。警大跡地の開発によるCO2発生量は、わずか1.5haの公園や屋上緑化があがなえるものではない。環境基本計画改定時には、警大跡地の開発によるCO2発生量の増加について、当然盛り込むべきと思うがどうか。

その他の質疑項目

非核平和のとりくみについて

沼袋駅北口の路上駐輪対策について

ホームレス自立支援について

環境基本計画では、中野区総体としてのCO2排出量をベースとして目標を立てるなどしており、個別具体的な案件を盛り込むことは難しい。

また、地域センター、区立図書館、障害者福祉会館などで貸し出しもしています。

視覚障害者の方へお知らせください。

声の区議会だより

目の不自由な方のため、区議会だよりを朗読録音したカセットテープ「声の区議会だより」を発行しています。

郵送により無料でお届けします。利用をご希望の方は、区議会事務局(電話3228-5585)まで。



自由民主党議員 伊東 しんじ



自由民主党議員 大内 しんご

区が民間業者に委託することも考えていきたい。

区が委託した場合は、労務管理についても区が行うということか。

区が手伝える部分については委託という形で行う。地域では運営委員会のみを組織して、センターの運営について協議をし、決定をしていきたい。

新しい考え方が示されたわけであり、早急に地域に説明する必要があると思うがどうか。

できるだけ早く、できれば4月中には地域で説明をしていきたい。

区が委託した場合は、労務管理についても区が行うということか。

区が手伝える部分については委託という形で行う。地域では運営委員会のみを組織して、センターの運営について協議をし、決定をしていきたい。



声の区議会だより

目の不自由な方のため、区議会だよりを朗読録音したカセットテープ「声の区議会だより」を発行しています。

郵送により無料でお届けします。利用をご希望の方は、区議会事務局(電話3228-5585)まで。

また、地域センター、区立図書館、障害者福祉会館などで貸し出しもしています。

視覚障害者の方へお知らせください。

声の区議会だより

目の不自由な方のため、区議会だよりを朗読録音したカセットテープ「声の区議会だより」を発行しています。